

## 第 18 期 事業報告書

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

法人の名称 特定非営利活動法人コロンブスアカデミー

### 1 事業活動方針

不登校ないしひきこもりなどを経験したため、またはその状況を継続しているために、一般的な就職などによる社会的自立が困難になると予想される、または現実に困難になっている青少年（以下 青少年）に対して、それらの状況から脱却する機会を提供し、かつ社会的自立を援助する活動として、社会参加上、重要な共同生活及び模擬的な就業体験の場を提供することに関する事業を行い、各人の個性に応じた社会的自立への機会を獲得することに寄与することを目的に活動を展開していった。

大きな出来事としては、コロンブスアカデミーを含むK2インターナショナルグループが「日本地域福祉学会 地域福祉優秀実践賞」を受賞したことである。行政との協同事業も様々な形で取り組んでいる一方で、制度の制約については自主事業で補完し、継続・発展させるという社会的企業型の地域福祉事業を実施していると高い評価をいただくことができた。法人として力を入れてきた「地域に根差した働く場の開発やコミュニティづくり」についても、地域福祉に関する優れた実践として認められ、自分たちの目指すところを再確認することができた。また、横浜市社会福祉協議会からも地域福祉に貢献していると感謝状をいただいた。

今年度は、よこはま夢ファンドの「組織基盤強化助成金」をいただき、ホームページのデザインリニューアルや2回のワークショップを通して、法人として自分たちの強み・弱みを再確認することができた。ワークショップの中で各事業担当のスタッフから出された大事にしたいキーワードはやはり「**おもしろい子（個）を育てる**」であった。広報ということについて、改めて考える機会が与えられ、必要な人に必要な情報を届けること、共感を得られるものを作っていくこと等、再確認することができた。応援会員（PPAサポーター・ユースサポーター・ジュニアサポーター）も少しずつ働きかけを行っているが、今後もいろいろな立場から「恩送り」できる形を作っていくことが必要である。

また、金沢八景で行っている事業では、金沢区青少年の地域活動拠点の第2期の法人選定や寄り添い型事業「横浜いろは塾」の事業内容が拡大するなど、それぞれの事業の役割を考える機会にもなった。コロンブスが目指す途切れのない支援の中で、この二つの事業が根岸での事業とうまくつながっていくことが今後の課題である。

事業計画に掲げた3つのテーマについては以下の通りである。

#### 1. おもしろい子（個）を育てる

自主事業実績：プレ教室ぽっかぽか 12組・のべ277名

ぽによ+登録 85名・のべ10,536名

(ぽによには、近隣の16ヶ所の小学校・保育園に所属している子が通ってきている)

各現場で目の前にいる子に対して、それぞれの形で「**混在の教育**」を実践している。どの年齢で出会ったとしても、困難や生きづらさを抱えている一人ひとりを「**問題のある存在**」「**迷惑をかける子**」ではなく、「**おもしろい個性**」「**興味深い存在**」と捉え、関わってきた。多様な人に囲まれ、多様な価値観の中で過ごす中で、生徒でもスタッフでも多様な生き方を肯定的に捉えることができるようになること、また、生き抜くための免疫力をつけていくことが重要だと考えている。そして、その理念を外部にも発信し、特に自主事業である「ぽによ+」や「プレ教室ぽっかぽか」に関わっている保護者や関係者も巻き込んでいくことを考えながら、各事業の運営をおこなった。

## 2. 途切れのない支援の形を目指す

### 多世代が集まるイベントの開催

- K 2 春のスタートデイ (防災訓練・花見) 186 名参加
- じゃがいも掘り 80 名参加・さつまいも掘り 124 名参加
- K 2 夏祭り 375 名参加・クリスマスフェスタ 307 名参加

子育て期～学齢期～思春期～青年期までの途切れのない支援を目指して一つ一つの事業に取り組んでいった。多面的な視点を持ち、具体的に今、必要なことは何かを問いながら、K 2 グループ内でとどまるのではなく、専門機関との連携や地域の資源を活用しながら、支援の輪を作っていくことを心がけている。どの年齢、どの段階でも相談を受けられるような体制づくりが必要であり、継続的に支援する仕組みを考えながら活動に取り組んできた。

## 3. 居場所から基地へ

ここで経験したことを活かして、次のステージにステップアップして、他の場所へ行っても、いつでも戻って来られる場「基地」でありたいと各拠点の運営をおこなった。それぞれの場の O B が関わりを保ち、困った時にはいつでも相談に来るようにメッセージを送り続けるよう努めた。

## 2 事業内容

### 1. 特定非営利活動に係る事業

#### (1) 社会参加基礎訓練等の場を提供するための寮施設兼生活指導施設の運営

##### ① 児童自立生活援助事業 自立援助ホーム

- ・ K 2 ハウス寮、オラシオ寮の 2 棟を運営。
- ・ それぞれの自立を目指して、個別支援計画を作成し、生活面やメンタル面のサポートに加え、高校の通学のサポート、就業支援・職場への定着支援を行っていった。
- ・ 児童相談所の児童福祉司・心理士や関係機関と連携し、ケースカンファレンスや面談や定期的な連絡などを重ね、本人にとってよりよい支援の形を目指し、一人ひとりに対して具体的なサポートを継続して行った。
- ・ 横浜市社会福祉協議会の児童福祉部会に出席し、横浜市の関係部署や市内の児童養護施設やファミリーホーム、自立援助ホームなどとの情報交換や関係作りに努めた。
- ・ 1 月 24 日 (火) 聖母愛児園 (児童養護施設) の職員研修の講師を務めた。
- ・ 全国自立援助ホーム協議会や研修等に参加し、国内の自立援助ホームのホーム長やスタッフとの交流や学びを深めた。

日時	通年
場所	K 2 ハウス寮 (横浜市磯子区中浜町)・オラシオ寮 (中区根岸町)
主な従事者人員	5 名
対象者	義務教育終了後～20 歳までの男子で、児童相談所が必要だと認めた者
定員	各寮 6 名
実績	体験 K 2 ハウス寮 1 名・オラシオ寮 2 名 入寮 K 2 ハウス寮 3 名・オラシオ寮 4 名

#### (2) 青少年とその保護者などに対する相談・支援

##### ① 不登校支援

- ・ 神奈川県から補助を受けて「不登校の青少年と家族の相談事業」を実施した。
- ・ 日常的な電話・メール相談の対応、有料の個別面談を行った。
- ・ 寄せられた相談について、学齢期のうちに必要な支援につながるような流れを作っていくように意識して丁寧な対応を行った。

- ・6月にはつづきMYプラザにて思春期セミナー、7月にはかながわ労働プラザ、10月には赤レンガ倉庫にて無料集中相談会(神奈川県・横浜市教育委員会 後援)を開催し、不登校で悩む保護者や本人から多くの相談を受けることができた。
- ・不登校の子どもたちの通いのプログラムでは、小学生の受け入れをおこない、夏休み明けからは再登校につながることもあった。

日時 火曜日～金曜日 11時～15時 (電話相談・メール相談・個別面談)  
 場所 横浜市磯子区東町9-9 3階  
 主な従事者人員 2名  
 対象者 青少年および保護者、関係者

## ②よこはま南部ユースプラザ

- ・相談窓口(電話、インターネット、来所)を開設し、困難を抱える若者やその保護者の第一次的な総合相談を受ける相談室の運営を実施。若者や家族、関係機関からさまざまな相談が寄せられるため、K2グループの中核の相談窓口として重要な役割を果たしていた。
- ・ひきこもり状態からの回復期にある若者の居場所の運営。
- ・ボランティア体験・社会体験・就労体験のプログラム、就労支援セミナーの実施。  
 講座：ボイストレーニング・PCセミナー・スポーツデー・コミュニケーション講座  
 ゴスペル講座・なんぷらアフタヌーンティー・ユースの会(月1～2回)  
 ファーム体験デー・コーチングスペシャリストによるワークショップ  
 ちがいを楽しむかんたんアート・韓国語講座・キャリア講座・ビジネスマナー講座・ゲーム大会・ものづくり講座・クレイフラワー講座・ファンケルによる身だしなみセミナー・色育講座・認知症サポーター養成講座・マンガ教室・THE BODY SHOPによるハンドマッサージ講座・採蜜ワークショップ・演劇ワークショップ・福祉サービススタディツアー・横浜美術館プログラム・野球ファンの集い・(株)ファンケルによるメイクセミナー・職業人セミナー・wii大会・インターネット被害未然防止講座  
 《磯子区役所出前講座》
  - ・栄養講座(磯子区役所福祉保健課)
  - ・国民年金講座(磯子区役所保険年金課)
  - ・悪質商法未然防止講座(磯子区地域振興課・根岸消費生活推進員)
- ・横浜市南部地域5区の関係機関、区役所との連携及びネットワークづくりのための年に3回の南部地域若者支援連絡会、年に2回の研修会を開催。年間のテーマを「学校連携～その後のアセスメントのあり方」として、戸塚高校、氷取沢高校、修悠館高校、明朋高校はじめ学校関係者にもたくさん参加していただくことができた。  
 \*南部地域若者支援連絡会：平成28年6月7日(火)29団体40名  
 9月29日(木)24団体30名  
 平成29年3月8日(水)17団体20名  
 \*研修会：平成28年7月27日(水)23団体32名  
 11月28日(月)20団体28名  
 \*4ユースプラザ合同連絡調整会議：隔月に1回開催(偶数月の第3月曜日)  
 \*三機関連絡会：年に2回開催  
 \*保護者交流会：毎月第3土曜日開催

開所時間 月曜日～金曜日 11時～19時 居場所・相談室  
 土曜日 11時～19時 相談室のみ

場所 横浜市磯子区西町12-1号  
 根岸駅前第二共同ビル2階 206・208号

主な従事者人員 9名  
 対象者 横浜市内にお住まいのおおむね 15 歳～40 歳未満の若者および  
 その家族  
 開所日数 281 日  
 来所者数 のべ 8,907 名  
 相談実績 面接相談 のべ 1,054 件・電話相談 のべ 578 件  
 インターネット相談 のべ 237 件  
 社会／就労体験事業参加者 のべ 2,398 名

### ③金沢区寄り添い型生活・学習支援事業（横浜いろは塾）

- ・金沢区内の生活困窮や保護者が精神疾患を有している等の理由により、養育環境に課題がある家庭に育つ小学生・中学生・高校生に対して、学習支援・生活支援・総合的な支援を実施。
- ・対象は生活保護を受けている家庭の子どもだけではないが、大半は生活保護受給家庭で、金沢区生活支援課・子ども家庭支援課と連携しながら、見学対応や生徒の受け入れのための情報共有を行い、一人一人に丁寧な支援を行った。
- ・大学生のボランティアも定着し、生徒にとっては、将来を真剣に考える大学生の姿は、自分達の少し先を行く先輩としていい刺激になっている。
- ・1月より「寄り添い型生活・学習支援事業」と名称も改まり、対象も中学生のみではなく、小学生・中学生・高校生に広がった。事業内容も学習支援だけでなく、生活支援にもこれまで以上に力を入れ、また、高校中退防止にも取り組んでいくこととなった。

日時（平成 28 年 4 月～12 月）火曜日～金曜日 15:00～20:00  
 土曜日 13:00～18:00  
 （平成 29 年 1 月～3 月）火曜日・水曜日・金曜日 13:00～20:00  
 木曜日 13:00～18:00  
 土曜日 11:00～18:00

場所 横浜市金沢区洲崎町 2-6 5 階

主な従事者人員 3 名

対象者（平成 28 年 4 月～12 月）養育環境に課題があり、支援を必要とする中学生  
 および保護者  
 （平成 29 年 1 月～3 月）養育環境に課題があり、支援を必要とする小学生・  
 中学生・高校生および保護者

開所日数 241 日  
 登録者数 32 名  
 参加人数 のべ 1,282 名

## （3）青少年の自立に関する情報提供

### ①団体の活動の情報発信

- ・ホームページやブログの定期的な更新作業を行い、より新しい情報の掲載に努めた。今年度は、よこはま夢ファンドの組織基盤強化助成金をいただいて、ホームページのデザインのリニューアルをおこなった。
- ・団体の活動内容を広く知ってもらうため年 2 回 KIAORA を発行する。KIAORA はホームページでも閲覧できるようにした。また、地域の各活動場所や連携先にも配布、設置を依頼し、活動に興味を持った方に手に取ってもらえるようにした。

日時 ホームページの更新は随時  
 KIAORAの発行 28 年 9 月・29 年 3 月

場所	コロンブスアカデミー事務局
主な従事者人員	2名
対象者	不登校、ひきこもり状態にある青少年とその家族、地域の関係機関・関係団体など

#### (4) 地域で子育てを支える場の提供・運営

##### ①親と子のつどいの広場事業 子育てスポットくすくす

- ・横浜市補助事業として、乳幼児親子が気軽に集える居場所を提供。
- ・親の日常的な悩みや不安を和らげる場、共に育ち合える場として運営をおこなった。
- ・親のリフレッシュや用事の際に利用ができる一時預かりを実施。
- ・参加する親子が参加者としてだけでなく、当事者として運営を支える、ママサポーター、ママボランティアとして活躍していた。
- ・活動の様子や今後の予定をこまめにホームページ・ブログから情報発信を行った。
- ・幼稚園・保育園座談会を年3回行い、情報収集ができる場の提供を行った。磯子区と中区の保育・教育コンシェルジュの方にも来ていただいた。
- ・今年初めて6月に保護者向けに幼児安全法の講習会を実施。
- ・磯子区内では、子育て支援拠点と各広場との会議を定期的に行い、情報交換が活発に行われるようになってきた。協力して「子育てフェスタ」を開催し、周知にも努力した。地域で気になる親子について児童相談所や区の保健師とも情報共有やケースカンファレンスなど具体的な連携を行った。保健師が同行して利用するケースもあった。
- ・同じフロアのぽにょ+の小学生が乳幼児の面倒をみたり、その姿を見て、乳幼児をもつ保護者が子どもの成長を思い描くことができ、ぽにょ+との交流が保護者自身の学びや発見の場になっていた。また、くすくすのママサポーターや講師がぽにょ+で小学生向けの講座を担当してくれることもあり、活発な交流が行われた。

日時	月曜日～金曜日 10:00～15:00
場所	磯子区東町9-9 2階
主な従事者人数	4名
対象者	乳幼児親子
開所日数	230日
来所者数	1915組 4163名 (一日平均 8.3組 18.1名)
一時預かり利用数	201件 計 575時間 (月平均 16.8件 47.9時間)

##### ②プレ教室 ぽっかぽか

- ・就園前の2～3歳児のこども対象のプログラムを実施。「こどもだけで活動に参加する経験」や「家庭ではできない体験をすること」を目的に、保護者もこども達もスムーズに幼稚園や保育園に移行できるように意識して、プログラムを構成し、事業を進めていった。
- ・保護者同士がプログラム終了後も助け合える関係作りを目指して、交流の場を作った。
- ・今年度は初の試みとして、保護者座談会を3回実施した。保護者同士のつながりを強め、子育ての不安に寄り添い、話し合う場にもなっていた。
- ・発達の相談も多く、子どものサポートだけでなく保護者のサポートも丁寧に行った。
- ・通ってきた親子からは、幼稚園就園に向けて情報を得られたこと、スタッフや保護者との関係が深まったことなど、参加してよかったという感想が多く聞かれた。きょうだい児で再び参加するケースも増えている。
- ・若者支援の取り組みについても理解を深めてもらおうと、法人の全体行事にも積極的に参加してもらい、子ども達の将来の不安も解決策も具体的に示していけるように意識して関わりをもった。特に、ファームイベントではいろいろな世代・経験を持った方との交流や自然体験ができ、小さな子どもをもつ保護者にも好評だった。
- ・クリスマスフェスタで、子どもの発表だけでなく保護者の発表も行い、その準備をして

いく中で、保護者同士の結びつきが強まった。また、発表をおこなうことで、プレ教室  
ぽっかぽかの活動をいろいろな世代の方に知ってもらう機会になった。

- ・幼稚園・保育園に就園後も、OB会を隔月で行い、近況報告や心配なことを話せる場を作った。

日時	年間 全 30 回（木曜日 10:00～11:30）
場所	磯子区東町 9-9
主な従事者人数	3 名
対象者	乳幼児親子
登録予定人数	12 名
参加人数（実績）	のべ 277 名

## （5）地域の子どもの居場所の提供・運営

### ①金沢区青少年地域活動拠点 カナカツ

- ・横浜市補助事業として、地域の中・高校生世代の青少年が安心して気軽に集う場や様々な体験交流の場を提供する事を目的とし、地域に根付いた活動拠点を運営。
- ・1階フリースペース部分では地域の中高生向けに駄菓子屋販売を行い、居心地のよい空間でそれぞれの過ごし方をする姿が見られた。
- ・イベントでは、利用している子ども達も一緒に準備を行い、**9月のカナカツ秋の美術展（262名参加）、11月の秋まつり（77名参加）、春まつり（47名参加）**には大勢の参加者が集まり、にぎわいを見せた。毎年恒例となっている金沢区民まつり「いきいきフェスタ」にも出店をおこなった。
- ・青少年交流ステーション・かなざわの入居団体が協力し、3階スペースを活用し、百人一首・工作などのコーナーを設け、子どもたちと交流しながらイベントを開催した。
- ・今年度は、初めての試みとして、「カナカツ秋の美術展」（9月27日～10月1日）を金沢高等学校・金沢総合高校の美術部等の協力を得て、地域の中高生と一緒に開催することができた。80点以上の作品が集まり、最終日には、横浜美術館の方も招いて、中高生たちがワークショップを行い、盛り上がりを見せた。
- ・近隣の学校に訪問、校長会や民児協ではイベントの周知や報告を定期的に行うことができた。また、地域の関係団体との連携を積極的に図り、金沢区施設連絡会、南部地域若者支援連絡会等にも参加。
- ・よこはま南部ユースプラザ等の若者の就労研修の場としても機能していた。
- ・今年度は**第2期の運営法人の選定があり、次の5年間も運営を任されることとなった。**

日時	火曜日～金曜日 15:00～18:30 土曜日 13:00～17:00
場所	横浜市金沢区洲崎町 6-2
主な従事者人員	3 名
対象者	地域の小～中高生、地域の人たち
開所日数	243 日
参加者	のべ 8,550 名
入居団体連絡会	隔月開催 全 6 回 平成 28 年 4 月 28 日（木）・6 月 23 日（木）・8 月 25 日（木） 10 月 27 日（木）・12 月 15 日（木）・平成 29 年 2 月 23 日（木）

## (6) 放課後児童健全育成のための学童保育の運営

### ①放課後ドラマ ぽによ+

- ・自主事業として「おもしろい子(個)を育てる」をテーマに、単に安全確保を目的とした子どもの預かり所ではなく、子ども達が多様な経験、多様な関わりの中で生き抜くための心の免疫力を育むことができるような場を目指して、運営をおこなった。
- ・定期利用の他、一時保育や日曜・祝日・夜間・宿泊対応、年中児・年長児の預かり等、多様なニーズに応えることで、保護者も子どもも安心して利用できる環境づくりに努めた。
- ・手作りの昼食・夕食・おやつを提供。毎日の食事を通して、準備や片付けの役割や仲間と食卓を囲むことの大切さを伝えている。
- ・虫キャンプやぽによ合宿、オセアニアツアー等の特別な宿泊体験行事も行い、学校や家庭では体験できないことにも取り組むことができた。
- ・放課後の時間帯に習い事ができるように、ぽによ塾のピアノ教室・英会話教室をおこなった。高学年になってもぽによ塾に通って来る児童もいた。発表会は、子ども達の励みにもなり、保護者も観に来てともに成長を喜んでいた。
- ・保護者もPPA(ぽによペアレンツアクションメンバー)として、おやつ作りやお出かけ、イベントなど参加する場面が増え、自分の子どもだけでなく、他の子ども達やぽによのスタッフとの関わりも多くなってきた。また、よこはま南部ユースプラザの講師を務めてくれるなど、他事業への連携も形ができつつある。
- ・毎年恒例の夏祭りやクリスマスフェスタでは、それぞれの個性を生かした発表を行った。
- ・K2グループの資源を活用し、**職業体験(パン屋12名・にこまる食堂4名)を実施**。
- ・夏休みは、女子からのリクエストを取り入れて、**ガールズツアー**を実施。高学年女子を中心に8名の参加者が楽しんで参加していた。
- ・**ぽによっこ保健室**として、個別のプログラムや女子・男子の少数でのプログラムを行った。また、ねぎし泌尿器科内科の高木先生を講師に招いて講座(30名参加)も実施した。
- ・今年度の新しい試みとしては、ぽによ塾に**卓球クラブを新設**した。卓球を通して、これまで以上に子ども同士の関わりや親子での活動が活発になっている。
- ・新入生の受け入れのために、**体験イベント「オープンぽによデイ」を開催**したところ、13組が参加し、大変好評だったので、次年度以降も継続していきたい。

日時	終日(必要に応じて対応)
場所	横浜市磯子区東町9-9 2階、その他
主な従事者人員	5名
対象者	横浜市内の年中児~小学生
開所日数	296日
登録人数	85名
登所人数	のべ10,536名(平均35.4名)
ぽによ塾	ピアノ 登録13名・のべ821名(65回実施) 英会話 登録22名・のべ510名(144回実施) 卓球 登録11名・のべ160名(15回実施)

#### 登録児童の所属小学校、保育園

根岸小 46名・間門小 10名・杉田小 5名・浜小 3名・森東小 3名  
国大附属 3名・滝頭小 2名・岡村小 1名・本牧小 2名  
雙葉小 1名・サンモール 1名・清泉小 1名・横浜ナーサリー 1名  
太陽の子不動下保育園 1名・星の子保育園 3名・原町星の子保育園 1名

## (7) その他の事業

### ①実習生の受け入れ

- ・社会福祉士などを目指す学生の実習の受け入れを行った。
- ・いろいろな部署での受け入れを通して、法人の理念や目指している方向性を知ってもらえるように毎日、振り返りを実施。

日時 平成 28 年 8 月 22 日 (月) ~ 9 月 21 日 (水)  
場所 横浜市磯子区東町 9-9  
主な従事者人員 1 名  
実績 神奈川県立保健福祉大学 3 年生 1 名

### ②採蜜ワークショップ

- ・採蜜体験を通して、地域の異世代交流の場を作る。
- ・法人の活動についても紹介を行った。

日時 平成 28 年 6 月 4 日 (土)  
場所 Honey Café Boom Boom (横浜市磯子区原町 2-13)  
主な従事者人員 2 名  
対象者 地域住民  
参加人数 11 組 22 名

### ③応援会員の募集

- ・法人の支え手を増やすために、PPAサポーター会員・ユースサポーター会員・ジュニアサポーター会員の 3 つの応援会員を募り、活動の支え手を増やすよう努めた。

実績 PPAサポーター会員 のべ 329 口 (27 名)  
ユースサポーター会員 のべ 20 口 (7 名)  
ジュニアサポーター会員 のべ 12 口 (8 名)



## <28年度 主な行事> ※大きな行事や行政との連携を中心に記載。

- 4月1日(金) K2春のスタートデイ(入社式・防災訓練・お花見)
- 4月18日(月) いそごひろば連絡会 参加
- 4月19日(火) ぽっかぽかOB会 開催
- 4月26日(火) 児童福祉部会 参加
- 4月28日(木) カナカツ入居団体連絡会 参加
- 5月2日(月) つどいの広場 ふきのとう内覧会 参加
- 5月14日(土) PPA採蜜ワークショップ 開催
- 5月16日(月) 自立援助ホームNEXT内覧会 参加
- 5月19日(木) はっちネット 参加
- 5月28日(土) じゃがいも掘りイベント 開催
- 5月31日(火) 横浜こども支援協議会 参加
- 6月4日(土) 採蜜ワークショップ 開催・県教委主催 不登校相談会 参加
- 6月6日(月) 第34回理事会 開催
- 6月7日(火) 平成28年第1回 南部地域若者支援連絡会
- 6月8日(水) 金沢区寄り添い型事業定例会議 開催・磯子区自立支援協議会 参加
- 6月9日(木) 夢ファンด์自己評価ワークショップ 実施
- 6月10日(金) 横浜市アフターケア勉強会 参加
- 6月11日(土) いそご地域活動フォーラム 参加
- 6月13日(月) つどいの広場Bブロック会議 参加
- 6月17日(金) 第29回総会 開催
- 6月23日(木) 子ども子育て会議 委員として出席・カナカツ入居団体連絡会 開催
- 6月25日(土) ぽにょ+保護者会・交流会 開催
- 6月27日(月) 思春期セミナー(つづきMYプラザ) 開催
- 6月29日(水) 児童福祉部会 参加
- 7月7日(木) はっちネット 参加・磯子区NPO連絡会 参加
- 7月14日(木) つどいの広場全体連絡会 出席
- 7月22日(金) 精神連絡会(磯子区生活支援センター) 参加
- 7月22日(金) ~23日(土) ぽにょ+ファーム合宿
- 7月27日(水) ~7月29日(金) ぽにょ+虫キャンプ
- 7月27日(水) よこはま南部ユースプラザ研修会 開催
- 7月29日(金) 地区別子育て支援連絡会 参加
- 8月2日(火) シャボン玉ワークショップ
- 8月3日(水) はっちネット 参加・こども子育て会議(子育て部会) 委員として出席
- 8月19日(金) 神奈川県内自立援助ホーム交流会(相模原)
- 8月23日(火) 横浜こども支援協議会 参加・フリースクール研究会 参加
- 8月25日(木) カナカツ入居団体連絡会 開催
- 8月27日(土) K2夏祭り 開催
- 8月29日(月) 磯子区NPO連絡会 参加
- 8月30日(火) いそごひろば連絡会 参加
- 8月31日(水) 児童福祉部会 参加
- 9月1日(木) こどもの貧困対策会議(学校・福祉連携分科会) 委員として出席
- 9月2日(金) こども子育て会議(子育て部会) 委員として出席
- 9月3日(土) 市教委主催 不登校相談会 参加
- 9月8日(木) 金沢区寄り添い型事業定例会議 開催
- 9月10日(土) フリフリフェスタ 開催
- 9月15日(木) はっちネット 参加
- 9月25日(日) 磯子まつり 出店
- 9月29日(木) 南部地域若者支援連絡会 開催
- 9月27日(火) ~10月1日(土) カナカツ秋の美術展
- 9月30日(金) はっちネット講演会 参加

10月3日(月) 磯子区長、磯子区職員 来訪・見学  
10月5日(水) 6日(木) 横浜市教育委員会 見学対応  
10月7日(金) 夢ファン情報交換会 参加  
10月11日(火) 横浜子ども支援協議会 参加  
10月12日(水) 根岸・滝頭・岡村地区子育てフェスタ 参加、自立支援協議会 参加  
10月13日(木) ~10月15日(土) 無料集中相談会@赤レンガ倉庫  
10月15日(土) 金沢区民まつりいきいきフェスタ(海の公園) 出店  
10月19日(水) 磯子区支援調整会議 参加  
10月20日(木) 困窮者支援区との意見交換会 参加・自立援助ホーム全国大会(つくば) 参加  
10月22日(土) さつまいも掘りイベント 開催  
10月25日(火) 子ども子育て会議 委員として出席  
10月27日(木) カナカツ入居団体連絡会 開催  
11月2日(水) 児童福祉部会 参加  
11月8日(火) いそごひろば連絡会 参加  
11月9日(水) つどいの広場Bブロック研修会 参加  
11月10日(木) 社会福祉大会 参加  
11月13日(日) 生活困窮者自立支援全国研究交流会 参加  
11月15日(火) 南台小学校ハートフルルーム見学  
11月17日(木) はっちネット 参加・カナカツ秋まつり 開催  
11月18日(金) 金沢区青少年の活動拠点 選定委員会  
11月26日(土) ぽにょ+入会説明会・保護者会・交流会 開催  
11月30日(水) 地域活動拠点運営者会議 参加  
12月1日(木) 磯子区NPO連絡会学習会 参加  
12月9日(金) 自立支援協議会 参加  
12月16日(金) 神奈川県ブロック会議 参加  
12月19日(月) 4YP連絡会 参加  
12月20日(火) 横浜子ども支援協議会 参加、相談対応研修 参加  
12月23日(祝) クリスマスフェスタ 開催  
12月28日(水) NPO法人ブライトネス 見学  
12月29日(木) 餅つき  
1月5日(木) はっちネット 参加  
1月11日(水) 初春学びの会 参加  
1月13日(金) 横浜市アフターケア勉強会 参加  
1月14日(土) 市教委行事 不登校座談会 参加  
1月16日(月) 相談員スタッフ連絡会 参加  
1月23日(月) 児童福祉部会 参加  
1月24日(火) 聖母愛児園職員研修 講師・磯子区NPO連絡会 参加  
2月8日(水) いそピヨスタッフ研修 受け入れ  
2月9日(木) 磯子区定例支援調整会議 参加  
2月10日(金) 相談センター事業説明会 参加  
2月11日(祝) さいとうクリニック(麻布十番) 見学  
2月14日(火) いそごひろば連絡会 参加  
2月15日(水) 自立支援協議会 参加  
2月17日(金) 磯子区子育て支援連絡会 参加  
2月20日(月) つどいの広場Bブロック会議 参加  
2月22日(水) 自立支援ネットワーク連絡会 参加  
2月23日(木) カナカツ入居団体連絡会 開催・カナカツ春まつり 開催  
2月24日(金) 磯子区NPO連絡会 参加  
2月25日(土) 日韓若者フォーラム 参加  
3月1日(水) 金沢区寄り添い型事業定例会議 開催

- 3月8日(水) 南部地域若者支援連絡会 開催  
横浜市貧困対策会議(学校・福祉連携分科会) 委員として出席
- 3月9日(木) 親と子のつどいの広場全体連絡会 参加、児童福祉部会 参加
- 3月11日(土) ぽによ+保護者会・交流会
- 3月21日(火) つどいの広場「夢たま」開所式 出席
- 3月23日(木) 夢ファンด์自己評価ワークショップ 実施
- 3月26日(日) 卒業式 開催・お祝い
- 3月28日(火) 磯子区NPO連絡会 参加

### <28年度 助成実績>

- \*神奈川県委託事業 フリースペース等事業費補助金(不登校相談)
- \*児童自立生活援助事業 自立援助ホーム(K2ハウス寮・オラシオ寮)
- \*横浜市地域ユースプラザ事業(よこはま南部ユースプラザ)
- \*横浜市青少年の地域活動拠点づくり事業 金沢区青少年の地域活動拠点(カナカツ)
- \*金沢区寄り添い型生活・学習支援事業(横浜いろは塾)
- \*横浜市補助事業 親と子のつどいの広場(子育てスポットくすくす)
- \*よこはま夢ファンด์ 組織基盤強化助成金
- \*磯子区社会福祉協議会 いそごふれあい助成金